

神経集中治療ハンズオンセミナー

コース概要

時間割

12:00～12:30
コース説明、資料配布、プレアンケート配布・記載
12:30～13:00
共催セミナー（大塚製薬株式会社） 「神経集中治療における脳波モニタリング」 久保田 有一先生 朝霞台中央総合病院 てんかんセンター
13:00～13:10（10分）
コンセプトの説明 神経集中治療の基本：脳の酸素需給バランスを考えて対応しよう
13:10～15:50（各40分 計160分）
・心拍再開後症候群(PCAS)ブース ・てんかん重積状態(SE)ブース ・重症くも膜下出血(SAH)ブース ・重症頭部外傷(TBI)ブース (1ブース8人×4にてローテーション)
15:50～16:00（10分）
脳神経蘇生研修指導者養成ワークショップについて
16:00～16:10（10分）
まとめ コンセプトの再確認 ポストアンケート記載

各ブース内容

心拍再開後昏睡(PCAS)ブース（40分）

【内容】

人形、体温管理装置、モニターを配置する。

体温管理療法の適応、シバリング対策、予後予測、感染症のルールアウト、などを中心にシナリオベースで行う。

【到達目標】

- ・心停止後の体温管理療法(低体温療法、常温療法)を学ぶ
- ・体温管理装置の使用が可能となる
- ・体温管理療法の適応を判断できるようになる

- ・ シバリングの対応方法を学ぶ
- ・ 予後予測について学ぶ

てんかん重積状態(SE)ブース (40分)

【内容】

脳波モニタリングの適応、異常波形の認知、てんかん重積のマネジメント、NCSEの診断方法、などを中心にシナリオベースで行う。

【到達目標】

- ・ 脳波モニタリングの適応を理解し、異常波形を認知し専門家にコンサルテーションすることができる。
- ・ 専門家がどの様に脳波を判読しているかを知る。
- ・ 簡易脳波モニタリングの実用性について知る

重症くも膜下出血(SAH)ブース (40分)

【内容】

血圧管理、CSWS, SIADH への対応、DCIの予知と対応、神経原性肺水腫、などを中心にシナリオベースで行う。

【到達目標】

- ・ 脳出血と脳梗塞の血圧管理について説明できる。
- ・ SAHでの手術や血管内治療が終了するまでの血圧管理ができる。
- ・ 予防的介入についてディスカッションできる(TCD含む)
- ・ (CSWSやSIADHのマネジメントができる)
- ・ DCIが発生した時の対応ができる。

重症頭部外傷(TBI)ブース (40分)

【内容】

頭蓋内圧モニタリングの適応、挿入手技、合併症、頭蓋内圧亢進時の対応方法、などを中心にシナリオベースで行う。

【到達目標】

- ・ ICPモニター挿入の適応を説明できる。
- ・ ICPモニターが挿入できる。
- ・ ICPモニターの挿入部位合併症について説明できる。
- ・ ICP上昇時の対応方法をマスターする。